

サケ稚魚放流体験・サクラマス(スモルト)放流



西山組合長による挨拶



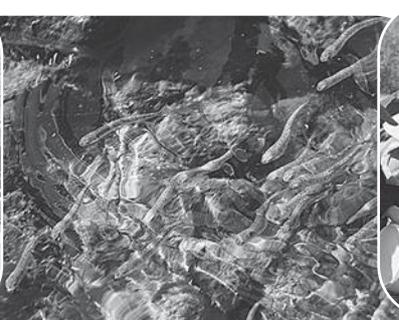
真剣に話を聞く2年生児童



むつ水産事務所 高橋さんの話



稚魚放流を行う2年生児童



2年生児童が放流した稚魚



稚魚放流を行う2年生児童



サクラマス
幼魚放流



遊漁用ヤマメ
幼魚放流



4月27日(火)、老部川において東
 小学校2年生38名がサケの稚魚
 放流を体験しました。この取組み
 は、東通村を学ぶ「東通科」で『自然
 を愛し、優しい心で動物や植物など
 の生き物に親しむ心を育てる』とい
 う目的から、老部川内水面漁業協
 同組合(西山忠一組合長)、むつ水産
 事務所などの協力のもと、20万尾
 の稚魚を2年生児童が放流しまし
 た。
 児童達は、「頑張つて大きくなって
 ね!」「無事に帰ってきてね!」など
 と声をかけていました。
 児童達からの声援を受け、稚魚
 たちは元気に川を泳いで行きました。

本年のサケの稚魚総放流尾数は、
 850万尾を予定しているとの事です。
 小学生の放流体験終了後、組合
 員により、サクラマスの幼魚3万3
 千451尾が放流されました。
 1年半飼育された幼魚は半年飼
 育の稚魚に比べて、かなり大きく12
 cm程まで成長していました(稚
 魚は一尾あたり5cmで0.8g)。
 最後に、遊漁用のヤマメ3816
 尾を小老部川に放流しました。
 遊漁用のヤマメは約3年で30cm
 程まで大きくなります。
 自分たちの住む地域に関心を持
 てる取り組みです。